

行政 視 察 報 告 書

| | |
|---------------|---|
| 参加議員 | 議会広報広聴推進会議 会長 藤田 誠 副会長 木戸 喜美男 委員 相馬 純子 委員 中田 靖人 委員 関 貴光 委員 軽米 智雅子 委員 万徳 なお子 委員 木下 靖 |
| 調査期間 | 令和 7 年 10 月 28 日 (火) |
| 調査先及び 調査事項 | 東京都三鷹市 「議会における字幕表示について」 |

視 察 概 要

| | |
|---------------------------|--|
| ■ 調査先 | 東京都三鷹市 |
| ■ 調査事項 | 議会における字幕表示について |
| ■ 調査内容 | |
| 1 調査日 | 令和 7 年 10 月 28 日 (火) |
| 2 調査目的 | 三鷹市は、市議会の本会議において中継映像に字幕表示を導入していることから、その取組について参考とするため、調査に伺った。 |
| 3 対応者 | <ul style="list-style-type: none">三鷹市議会事務局 次長 黒崎 晶 調査係長 鵜沼 まどか 調査係 秋葉 栄汰 |
| 4 三鷹市議会における字幕表示の取組についての説明 | 三鷹市議会では、令和 5 年 9 月から本会議の中継に字幕表示を導入しているが、導入までの経緯及びシステムの概要等について、説明があった。(詳細は下記のとおり) |
| (1) 議会中継の概要 | <ul style="list-style-type: none">本会議は、平成 18 年 3 月議会から生中継及び録画中継を導入しており、どちらの中継にも令和 5 年 9 月から字幕表示を導入している。 |
| (2) 字幕システムの概要 | <ul style="list-style-type: none">音声認識表示ソフトウェア「TZ-TRACE」を使用しており、特徴としては、音声認識技術「Ami Voice®」を活用したリアルタイムでの文字起こしである。認識精度については、一般的にコールエンターのオペレーターなど丁寧な喋り方の |

場合は、平均 80% 程度であり、ぼそぼそとした喋り方や文字を飛ばした喋り方（例：「ありがとうございます」を「あざーす」）、音に大きなノイズが含まれていると、認識が困難であるとのこと。

- ・傍聴席に字幕表示モニターを設置しているが、詳細は次のとおり
モニターサイズは 50 インチ
字幕システムから有線接続
字幕のみ表示され、表示される字幕は生中継と同じ

（3）費用について

- ・導入費用は、議場傍聴席表示モニターなど、4,132,810 円（消費税込、R 5 決算額）。
- ・ランニングコストは、字幕配信費用など 792,000 円（消費税込、R 6 決算額）。その他、インターネット中継配信費用が発生する。

（4）主な質疑応答

問： 市民などから字幕表示に関する意見や、議場内傍聴席モニターへの傍聴者からの意見はあったか。

答： 傍聴者や議員の感想として、「（中継も含め）字幕があることで分かりやすかった。」という声があった。

問： 議場内傍聴席モニター及び生中継、録画中継で使用しているフォント及びフォントカラーは、何か。

答： フォントはメイリオ、フォントカラーはブラックを使用している。

問： 本会議中継で、例えば、誤字で表示された場合、録画映像の字幕は訂正されるのか。

答： 訂正はできないため、文字は誤字のまま表示される。三鷹市議会では、あくまでも正式な会議録ができるまでのつなぎとして、録画中継を放送しているため、会議録が完成した時点で、録画映像は放送しない方針としている。

問： A | 音声認識システム及び議場内傍聴席モニターを導入した後、傍聴者数に変化はあったか。

答： 前年度までコロナ禍、導入年度は改選期であったなど様々な要因により字幕導入による傍聴者数への効果は不明。

問： 導入費用について、全て市の一般財源か。それとも国や都から補助金などあったのか。

答： 全て一般財源である。

問： 現状の課題や今後の取組について。

答： 誤変換は必ず発生する。発言者へ丁寧に発言してもらえるよう周知が必要である。